

2018年度 研究センター事業報告書

研究センター名	コア研究センター
---------	----------

I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

はじめに

立命館大学コア研究センターは、2005年に発足して以来、朝鮮半島に焦点を当てつつ日本と東アジア周辺諸国の相互理解と平和創造に資する研究活動に邁進してきた。2018年度には、コア研究センターは、2005年度～2017年度の13年間の研究実績を基盤として、近年激化してきた東アジアの葛藤と理解のジレンマを乗り越えるために、葛藤・対立のモメントを最小化しながら、交流と相互理解をいっそう促進する道筋を探り、社会的に方向性を示すことのできる政策志向の研究拠点として新たなスタートを切った。2018年度はその1年目であったが、基本的に前センターが取り組んできた研究活動を継続しつつ、重点的研究課題として、目下、東アジアの国際情勢にとって決定的に重要なアクターである朝鮮民主主義人民共和国を内在的に理解するための研究に取り組んだことを強調しておきたい。以下、項目別に研究成果をまとめておく。

1. 学術研究事業

(1) 国際学術シンポジウム

2018年度は朝鮮半島の南北関係改善と米朝対話が大きく進展したが、そのような情勢に切り結びつつ、立命館アジア・日本研究推進プログラム採択プロジェクトとして、朝鮮半島に焦点を当てた国際学術シンポジウムを開催した。「南北首脳会談とその後の展望」(4月23日)、「北朝鮮の核問題の新局面とその後の展開」(6月20日)、「朝鮮の核問題の新局面とその後の展望」(8月2日)の連続3回の開催となった。いずれも日韓の第一線の専門家により多角的視野から問題に接近したものであり、関西地域において市民に開かれた研究活動を展開してきた本センターらしく、タブーや前提を置かず自由闊達な討論を展開することができた。

(2) RiCKS 月例研究会

RiCKS 月例研究会は前センター発足時からセンターの核心的な事業として取り組んできた企画であり、主として、①博士学位取得前後の気鋭の若手研究者、②関西地域に滞在中の海外研究者に発表を依頼してきた。2018年度は4に示した通り、ほぼ毎月、計10回開催することができ、通算103回を数えるに至った。

(3) 立命館土曜講座

2018年6月の土曜講座をコア研究センターが担当し、「映画・ドラマから見るコリアの歴史と文化」をテーマとして4回開講した。内容としては、それぞれ、①戦時期の朝鮮社会、②軍部独裁時代の韓国、③現代の韓国人の宗教観、④ドラマに描かれた現代韓国社会の諸相に切り込む講演で、社会的にも高い関心を集め、毎回、ほぼ満員になるほどの出席者を得た。

2. 新たな学術交流協定の締結

(1) 全南大学校 5.18 研究所

2018年5月25日にMOUを締結し、2018年12月7日に全南大学校で開催された国際学術大会に参加した。

(2) 圓光大学校東アジア人文社会研究所

2019年2月8日にMOUを締結したが、それに先んじて2018年10月19日に圓光大学校で開催された国際学術大会に参加した。2019年2月には立命館大学でMOU締結式と国際学術交流キックオフセミナーを開催した。

3. 若手人材育成

すべての学術研究事業に若手研究者の積極的な参加を促し発表を奨励するとともに、研究基盤を提供した。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2019年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
センター長	勝村 誠	政策科学部	教授
運営委員	山下 高行	産業社会学部	教授
	文 京洙	国際関係学部	教授
	庵途 由香	文学部	教授
	石川 亮太	経営学部	教授
	秋葉 武	産業社会学部	教授
	金山 勉	産業社会学部	教授
	中戸 祐夫	国際関係学部	教授
	佐々 充昭	文学部	教授
	宋 基燦	映像学部	准教授
	鄭 雅英	経営学部	教授
	松本 克美	法務研究科	教授
	桂島 宣弘	文学部	教授
	高屋 和子	経済学部	教授
	金丸 裕一	経済学部	教授
	金 友子	国際関係学部	准教授
	認田 芳憲	立命館アジア太平洋大学	教授
轟 博志	立命館アジア太平洋大学	教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)			
学内の若手研究者	専門研究員・研究員		
	補助研究員・リサーチアシスタント		
	大学院生		
	学振特別研究員(PD・RPD)		
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	林 茂澤	文学部	非常勤講師
	沈 熙燦	文学部	授業担当講師
	宋 基栄	経営学部	授業担当講師

	宋 隱營	文学部	非常勤講師
客員協力研究員	新里 瑠璃子	龍谷大学	非常勤講師
	鄭 桂香	—	—
	姜 泌求	—	—
	徐 潤雅	—	—
	宇都宮 めぐみ	—	—
	申 東洙	—	—
	閔 智焄	—	—
	李 寅載	韓神大学校	教授
	金 東僖	—	—
	高 恩美	東亜大学校石堂学院	特別研究員
	林 梅	—	—
	坂本 悠一	—	—
	HONG JUNGEUN	駐大阪韓国文化院世宗学堂	講師
	三上 聡太	大阪成蹊大学	非常勤講師
	波佐場 清	—	—
	戸塚 悦朗	—	—
	森 類臣	大谷大学	助教
	尹 健次	文学部？	非常勤講師？
	川瀬 俊治	—	—
	裴 始美	大阪大学	准教授
	青柳 純一	—	—
	高 賛侑	京都ノートルダム女子大学	非常勤講師
	許 燕華	京都大学	非常勤講師
	崔 仁宅	東亜大学校	教授
	梁 仁貫	岩手大学	准教授
	閔 スラ	精華大学	非常勤講師
金 鍾泰	湖西大学校	教授	
金 建佑	大田大学校	副教授	
金 賢泰	コリア NGO センター	職員	
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)			
研究所・センター構成員 計 51 名 (うち学内の若手研究者 計 0 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2019年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	宋 基燦	분단극복을 위한 집단지성의 힘 (分断克服のための集団知性の力)	共著	2018年5月	韓国文化社	KU 統一研究ネットワーク	p. 59~63
2	鄭 雅英	済州島を知るための99章	共著	2018年9月	明石書店	梁聖宗、伊地知紀子ほか	p.215~221
3	鄭 雅英	轉換期中国の企業群像	共著	2018年4月	晃洋書房	佐々木信明、辻美代ほか	p.77~92
4	松本 克美	社会の発展と民法学・上巻	共著	2019年1月	成文堂	道垣内弘人他編	p.225~245
5	桂島 宣弘	『思想史で読む史学概論』	単著	2019年1月	文理閣		全286頁
6	桂島 宣弘	『歴史を通して「他者」と向き合う』	単著	2019年1月	太陽出版		全342頁
7	金 友子	社会思想史辞典	共著	2019年01月	丸善	社会思想史学会編(分担執筆)	p.474~475

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	勝村 誠	安重根(フォーラムテロとは何か。植民地の産物?)	単著	2018年7月	植民地文化研究、第17号		p. 4~12	
2	勝村 誠	【論文翻訳】尹奉吉義士の金沢殉国と顕彰事業	翻訳	2018年12月	コリア研究、9号	金度亨著	p.99~113	
3	勝村 誠	【論文翻訳】尹奉吉の思想と独立運動の戦略	翻訳	2018年12月	コリア研究、9号	金度亨著	p.87~97	
4	勝村 誠	尹奉吉義挙85周年にあたって	単著	2018年12月	コリア研究、9号		p.79~81	
5	勝村 誠	安重根義挙と日本の反応—義挙直後の新聞論説を手がかりに	単著	2019年3月	安重根義士殉国109周年国際学術シンポジウム「安重根義士のハルビン義挙と国内外の反響」		p.84~115	
6	文 京洙	ろうそく革命と文在寅新政権	単著	2018年6月	『コリアン・スタディーズ』第6号、国際高麗学会日本支部		p.21~25	
7	文 京洙	四・三事件70年 問題解決の到達点と課題	単著	2018年7月	『世界』7月号、岩波書店		p.168~174	
8	文 京洙	激変する朝鮮半島情勢—変化へのイニシアチブを探る	単著	2018年8月	『現代思想』、青土社、8月号		p.67~75	
9	文 京洙	在日朝鮮人問題入門 阪神教育闘争70年	単著	2019年1月	『部落解放・人権入門』、解放出版社、768号		p.134~145	
10	中戸 祐夫	最近の朝鮮半島情勢—北朝鮮の戦略転換と今後の展望	単著	2019年1月	日本與亞太研究 第3/ 第1		p.234~244	
11	佐々 充昭	植民地朝鮮に生きた文人画家・池雲英の夢体験—『白蓮志異』を中心に—	単著	2019年2月	『立命館文学』立命館大学人文学会 第660		p.185~203	
12	Kichan Song	Beyond Identity Politics: The Identity Matter of Zainichi-Koreans and Ethnic	単著	2018年9月	The Present State and Future Direction of Korean Studies in Socio-Cultural Context in the Central and Eastern Europe		p.232~234	

		Education of Korean Ethnic School in Japan						
13	宋 基燦	정체성의 정치에서 정체성의 관리로: 조선학교의 민족교육과 재일코리안의 정체성(アイデンティティ・ポリティクスからアイデンティティ・マネジメントへー朝鮮学校の民族教育と在日コリアンのアイデンティティ)	単著	2018年11月	韓国文化人類学、第51集3号			p.207~278
14	宋 基燦	朝鮮半島における平和実現のための「節合の知」ー在日コリアンの歴史的経験と日常的実践からー	単著	2018年12月	코리아研究、第9号			p.19~31
15	宋 基燦	「映像のための弁明」ーAI時代の映像学に向けた試論ー	単著	2019年2月	立命館映像学、第11号			p.29~43
16	鄭 雅英	中国朝鮮族の昨日と今日(中)ーもう一つのコリアン社会	単著	2018年11月	文化センターアリラン、アリラン通信、61号			p.18~19 無
17	鄭 雅英	中国朝鮮族の昨日と今日(上)ーもう一つのコリアン社会	単著	2018年5月	文化センターアリラン、アリラン通信、60号			p.14~15 無
18	鄭 雅英	「済州島4・3と在日同胞社会ー沈黙から慰霊まで」(朝鮮語)	単著	2018年10月	2018統一人文学世界フォーラム資料集(学会報告論文)			p.43~54 無
19	松本 克美	不法行為による潜在型損害の長期消滅時効の起算点ー民法724条の『不法行為の時』と『損害の性質』論	単著	2018年8月	立命館法学378号			p.788~810 無
20	桂島 宣弘	書評 尹海東『植民地がつくった近代』	単著	2018年5月	『新しい歴史学のために』292号			p.71~79 無
21	高屋 和子	中国の農村土地制度の改革ー農業生産の効率化と農地集約	単著	2019年3月	関西大学、経済論集、68巻4号、			p.43~62 無
22	高屋 和子	大学の地域貢献と地域活性化ー滋賀県立大学の取り組みを事例に	共著	2019年3月	立命館経済学、67巻5・6号	厳 瑾		p.194~215 無
23	高屋 和子	遼寧省経済の『回復』と企業新展開ー2018年8月瀋陽ー	共著	2019年3月	社会システム研究、38号	松野 周治・曹 瑞林・今田 治・楊秋麗		p.227~250 無
24	金丸 裕一	賀川豊彦による「中国」言説の一考察ー日本プロテスタント史に定位する試みー		2018年8月	『賀川豊彦学会論叢』26、賀川豊彦学会			p.72~101
25	金丸 裕一	中国における賀川豊彦を追跡するー「宋美齡のラジオ放送」伝説をめぐってー(上)		2019年3月	『あんげろす 明治学院大学キリスト教研究所ニュースレター』77、明治学院大学			p.3~5
26	金丸 裕一	中国における賀川豊彦を追跡するー「宋美齡のラジオ放送」伝説をめぐってー(下)		2019年3月	『あんげろす 明治学院大学キリスト教研究所ニュースレター』78、明治学院大学			p.1~3

27	金 友子	在日コリアン女性の生きにくさとヘイト・スピーチ—アプロ第二回在日コリアン女性実態調査の結果から	単著	2018年7月	月刊『部落解放』		p.74~82	無
28	総田 芳憲	首脳会談後の米朝関係の膠着	単著	2019年3月	東アジア学会, 東アジア研究, 第25号		p.61~71	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	勝村 誠	日本の歴史修正主義者の最近の動向—教育研究分野への圧力を中心に(韓国語)	2018年4月26日	HK 国際学術会議 環東海地域関係網の分節と拡張性(韓国語)	
2	勝村 誠	韓日関係と韓国学関連研究センターの現状ならびに活動、そして課題:立命館大学コリア研究センターの経験を中心に	2018年10月19日	「東北アジアディメンション土台構築」第1次国際学術大会「東北アジアの韓国学研究的動向と争点、そして展望」	
3	文 京洙	移行期正義と済州 4.3	2018年7月14日	国際高麗学会ソウル支会 20周年記念学術大会、韓国ソウル	
4	文 京洙	移行期正義と民主主義	2018年11月30日	5.18 記念財団国際学術大会、韓国光州市	
5	文 京洙	北東アジアの新秩序と日韓関係	2018年12月13日	日中韓3大学学術シンポジウム「北朝鮮の核問題の新局面と激動する北東アジア」、立命館大学	
6	Anako, Yuka	The Japan-Korea History Problem; Causes and Structures of Conflicts over the Colonial Past	2019年2月15日	Leiden University, LIAS	単独
7	庵途 由香	北韓「慰安所」関連資料—遺物・証言の文献的検証を中心に	2018年8月22日	国際シンポジウム「日本軍「慰安婦」資料発掘の現在と今後の課題」東北亜歴史財団、ソウル	単独
8	石川 亮太	朝鮮開港直後の貿易商品について	2018年4月21日	「開港期」朝鮮を中心とする「交隣」の総合的研究・「東アジア世界秩序での朝鮮の「交隣」 第1回日韓合同シンポジウム	
9	石川 亮太	朝鮮開港後の貿易商品に現れた連続と断絶—海藻を例に	2018年12月22日	脇村孝平先生を囲んでの研究会	
10	石川 亮太	平井健介『砂糖の帝国—日本植民地とアジア市場』へのコメント	2019年1月5日	社会経済史学会近畿部会・経営史学会関西部会合同書評会	
11	秋葉 武	日本のNPOと社会政策	2019年1月24日	日韓NPO研究会	
12	秋葉 武	子どもNPOの動向と日本社会	2019年2月21日	日韓NPO研究会	
13	中戸 祐夫	米朝首脳会談共同声明からみる北朝鮮の論理	2018年7月28日	朝鮮半島をめぐる国際関係と日本	
14	中戸 祐夫	The Normalization of DPRK-Japan Relations	2018年9月29日	2018 Global Peace Forum on Korea: Peace and Prosperity for Korea and the World	
15	中戸 祐夫	Unification of the Korean Peninsula and Japan	2019年2月27日	Global Peace Convention: Internatinal Foruam on One Korea "Korean Dream: Vision for Unified Korea"	
16	中戸 祐夫	トランプ政権下の北東アジア情勢—朝鮮半島問題、安全保障問題を含む—	2019年2月28日	トランプ政権の対外政策と北東アジアの国際関係	
17	宋 基燦	인류학적 실천과 현실참여— 인류학자의 아이덴티티와 성찰적 인류학(人類学的実践と	2018年6月9日	韓国文化人類学会60周年記念大会	

		現実参与ー人類学者のアイデンティティと省察的人類学)			
18	宋 基燦	Beyond Identity Politics: The Identity Matter of Zainichi-Koreans and Ethnic Education of Korean Ethnic School in Japan	2018年9月22日	17th Central and Eastern European Society of Koreanology Conference	
19	宋 基燦	조선학교 민족교육의 민족자산적 가치: 간사이지역 조선학교의 사례를 중심으로(朝鮮学校民族教育の民族資産的価値 一関西地域朝鮮学校の事例を中心として)	2018年10月29日	シンポジウム『在日同胞の朝鮮学校における民族教育』	
20	宋 基燦	재일코리안의 역사적 경험과 일상적 실천을 통해서 본 한반도 평화 실현을 위한 절합(節合)의 지 (在日コリアンの歴史的経験と日常的实践を通じてみた朝鮮半島平和実現のための「節合の知」)	2018年11月3日	韓国文化人類学会第60回定期学術大会	
21	宋 基燦	映像人類学と「モバイル・ミュージアム」	2019年3月7日	「映像人類学×モバイル・ミュージアム」勉強会	
22	鄭 雅英	「済州島4・3と在日同胞社会ー沈黙から慰霊まで」(朝鮮語)	2018年10月	2018 統一人文学世界フォーラム 植民地冷戦が残した傷跡、コリアンの差異と共通性	
23	松本 克美	企画趣旨・ワークショップ Me Too 運動の日韓比較	2018年12月	ジェンダー法学会、第16回大会、立正大学、大崎キャンパス	
24	桂島 宣弘	「近世帝国」周辺部徳川日本の儒学・朱子学の動向	2018年6月	日本朱子学的伝承と創新学術研討会、中国厦門大学	
25	金丸 裕一	『支那通』クリスチャンと日中戦争ー内山完造と清水安三の働きをめぐって	2018年9月15日	キリスト教史学会第69回全国大会、北陸学院(金沢)	
26	金丸 裕一	日中基督教關係史的幾個思考-戰爭與信仰	2018年12月14日	國立東華大學歷史學系學術專題演講 107-1、國立東華大學(花蓮)	
27	金 友子	ヘイトの構図	2018年9月	日本社会病理学会 第34回大会 ラウンドテーブル「社会病理・社会問題研究の可能性IIー社会的排除はいかに研究しうるかー」	
28	金 友子	「親日未清算の歴史と親日の内的論理」に対するコメント	2018年11月10日	統一人文学世界フォーラム2018「植民と冷戦が残した傷、コリアンの差異と共通性」中国海洋大学(中国)	
29	轟 博志	韓国古代都市における景観の継承 ー南原京の事例ー	2018年11月24日	人文地理学会大会	
30	轟 博志	Sea road or land road? Silk Road in Korea	2018年12月1日	16th ASIA PACIFIC CONFERENCE	
31	総田 芳憲	米朝首脳会談後の米朝関係と日本	2018年12月	立命館大学コリア研究センター、東国大学北韓研究所、吉林大学東北亜研究院・国際学術会議:「北朝鮮の核問題の新局面と激動する北東アジア」、立命館大学	
32	総田 芳憲	The Factors behind Japan's New Security Posture	2018年12月	The 16th Asia-Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University	
33	総田 芳憲	A Scrutiny of Japan's Remilitarization	2018年11月	The Asia-Pacific International Workshop: "National Identity and Japanese Revisionism," Ritsumeikan Asia Pacific University	

34	総田 芳憲	金正恩：非核化は実現する のか	2018年6月	東アジア学会 第28回大会 西南学院 大学	
35	総田 芳憲	North Korea's Nuclear Development and the U.S.- Japan Responses 発表会議名	2018年4月	The 2nd Yonsei CARIFS International Conference, Yonsei University (South Korea)	
36	総田 芳憲	Japan's Response to North Korea's Military Expansion under Kim Jong-un	2018年4月	International Studies Association Annual Convention, San Francisco	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第94回月例研究会 「光州事件と画家たちー1980年代、日本ー」	衣笠キャンパス	2018年4月	30名	ー
2	第95回月例研究会 「引揚医療と民族優生ー国策としての人工妊娠中絶」	衣笠キャンパス	2018年5月	30名	ー
3	第96回月例研究会 「植民地期朝鮮とドイツ留学ー新聞報道を手がかりにしてー」	衣笠キャンパス	2018年6月	30名	ー
4	第97回月例研究会 「生と死のつながりを生きる人々ー墓地をめぐる中国朝鮮族家族の生活史から」	衣笠キャンパス	2018年7月	30名	ー
5	第98回月例研究会 「英雄たちの都市ーソウルにある小さなゲーム制作会社の民俗誌的研究ー」	衣笠キャンパス	2018年9月	30名	ー
6	第99回月例研究会 「韓国巫俗言説の諸相：迷信、文化、宗教としての巫俗認識」	衣笠キャンパス	2018年10月	30名	ー
7	第100回月例研究会 「韓国における公共部門の雇用政策と社会的弱者に対する政策課題」	衣笠キャンパス	2018年11月	30名	ー
8	第101回月例研究会 「満州国麻薬政策と在満朝鮮人文学」	衣笠キャンパス	2018年12月	30名	ー
9	第102回月例研究会 「Refocusing the Ethnic LensNorth Korean Migrants and Boundary Making in South Korea」	衣笠キャンパス	2019年2月	30名	ー
10	第103回月例研究会 「朝鮮戦争勃発後、北朝鮮難民に対する中国政府の政策」	衣笠キャンパス	2019年3月	30名	ー
11	土曜講座『映画に描かれた戦時期朝鮮社会ー「望楼の決死隊」(1943年・今井正監督)を読むー』	衣笠キャンパス	2018年6月2日	180名	
12	土曜講座『「映画を通してみる韓国人の宗教観ー韓国キリスト教会におけるクリスマ運動を中心にー』』	衣笠キャンパス	2018年6月9日	180名	
13	土曜講座『「ドラマを通して考える最近の韓国社会ー教育熱、#Me Too、北朝鮮などー』』	衣笠キャンパス	2018年6月16日	180名	
14	土曜講座『「映画と軍部独裁：朴正熙政権下の韓国映画』』	衣笠キャンパス	2018年6月23日		
15	国際シンポジウム 「南北首脳会談とその後の展望」	衣笠キャンパス	2018年4月23日	100名	立命館アジア・日本研究推進プログラム採択プロジェクト、立命館国際地域研究所
16	国際シンポジウム 「北朝鮮の核問題の新局面とその後の展望」	衣笠キャンパス	2018年6月20日	100名	立命館アジア・日本研究推進プログラム採択プロジェクト、立命館アジア日本研究所、国際関係学部
17	国際シンポジウム 「朝鮮の核問題の新局面とその後の展望」	衣笠キャンパス	2018年8月2日	100名	立命館アジア・日本研究推進プログラム採択プロジェクト、立命館アジア日本研究所、国

					際関係学部
--	--	--	--	--	-------

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）					
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間	
1	佐々 充昭	書評：朴燦鎬著『韓国歌謡史Ⅰ(1895-1945)・Ⅱ(1945-1980)』	『図書新聞』第3387号(2019年2月16日付)第2面	2019年2月16日	
2	宋 基燦	国際学会議通訳および発表文の翻訳	日本文化人類学会第52回大会 日韓文化人類学交流部会「自分の言語で人類学する」 弘前大学	2019年6月2日	
3	宋 基燦	スロベニア-イタリア国境地方調査	スロベニア・ピラン、イタリア・トリエステ	2019年9月19日	
4	宋 基燦	日・韓文化人類学会会長団ミーティング コーディネートおよび通訳	日・韓文化人類学会会長団ミーティング「東アジア人類学の交流と協力」 韓国釜山市 プギョン大学	2019年11月2日	
5	桂島 宣弘	画期としての光格天皇	歴史講座、京都ラポール学園	2019年2月	
6	桂島 宣弘	天皇制の過去と現在	特別講演会、韓国東西大校	2019年3月	
7	金 友子	「マイクロアグレッションとは何か」	京都府立高等学校人権教育研究会総会、京都府学校給食会(京都市)	2018年5月1日	
8	金 友子	「マイクロアグレッション——日常に潜む見えない差別・排除」	関西学院大学社会学部 2018年度春学期 教職員人権問題研修会、関西学院大学(西宮市)	2018年6月27日	
9	金 友子	「マイクロアグレッション——日常に潜む見えない差別・排除」	嵯峨野高等学校 教職員人権研修、嵯峨野高等学校(京都府・京都市)	2018年8月17日	
10	金 友子	「マイクロアグレッション——日常に潜む見えない差別・排除」	京都府立桃山高等学校 教職員人権研修会、桃山高等学校(京都府・京都市)	2018年11月21日	
11	金 友子	「在日朝鮮人女性に対する複合差別と差別解消の課題」	世界人権宣言70周年記念大阪集会「世界人権宣言から70年 国際人権基準の進歩・成果・課題と日本」シンポジウム、世界人権宣言大阪連絡会議、(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)主催、反差別国際運動(IMADR)後援	2018年12月5日	
12	金 友子	「マイクロアグレッション——日常に潜む見えない差別・排除」	府外教「ちがいでドキドキ多文化共生ナビ」活用実践講座、大阪府在日外国人教育研究協議会、大阪府立港区民センター(大阪市)	2019年3月28日	
13	KIM Wooja	International Conference Organizer	The 2nd International Workshop HATE SPEECH IN ASIA AND EUROPE: A COMPARATIVE APPROACH, Paris Diderot University, France.	2019年1月8~10日	

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
該当なし					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	文 京洙	韓国の地域社会における非営利・協同事業の展開とローカル・ガバナンスに関する研究	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	代表
2	庵途 由香	植民地朝鮮社会における朝鮮駐屯日本軍の実態と役割に関する基礎的研究	基盤研究(C)	2015年4月	2019年3月	代表
3	庵途 由香	日中韓の新型留学プログラムにおける言語文化教育の在り方と支援方法の提案	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	分担
4	庵途 由香	大学の英語開講授業とキャンパスアジアにおけるトランス・ランゲージングの実態と活用	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	分担
5	石川 亮太	朝鮮環境史の創成にむけた河川の管理・利用に関する総合的研究	基盤研究(B)	2016年4月	2020年3月	分担
6	石川 亮太	近代中国の経済「制度」とその国際的比較：政府と商工業の関係を中心に	基盤研究(B)	2016年4月	2020年3月	分担

7	石川 亮太	経済発展における重層的決済システムの役割と近代銀行史の再考	基盤研究(B)	2016年4月	2019年3月	分担
8	石川 亮太	「開港期」朝鮮を中心とする「交隣」の総合的研究：東アジア世界秩序の再検討の試み	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	分担
9	秋葉 武	日韓における政治の機会主義化と事業型NPOのマネジメント	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
10	佐々 充昭	戦前期における大本教と道院・紅卍字会と朝鮮新宗教団体との連合運動に関する研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	代表
11	鄭 雅英	移民の「ネーション(国民)」意識に関する研究—中国朝鮮族と在日朝鮮人を事例に	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
12	松本 克美	修復的正義の観点からの<損害の可視化>を実現するための損害論の法心理学的構築	基盤研究(C)	2016年4月	2018年3月	代表
13	松本 克美	東北地震放射能・津波被災者の居住福祉補償とコミュニティ形成—法学・医学の対話	基盤研究(B)	2016年4月	2020年3月	分担
14	桂島 宣弘	東アジア翻訳語ネットワークと近代史学史に関する思想史的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
15	金 友子	離散民の祖国志向の歴史・社会的構築性に関する研究	基盤研究(C)	2018年4月	2020年3月	代表
16	轟 博志	朝鮮における古代道路の歴史地理学的復原に関する基礎的研究(国際共同研究強化)	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	2016年4月	2019年3月	代表
17	轟 博志	アジアにおける平和の記憶を紡ぐメディアとしてのダークツーリズム	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	分担

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	勝村 誠	関西地域(大阪、京都など)所在、韓国独立運動史跡地調査及び点検	受託研究	2018年8月	2018年12月	代表
2	庵途 由香	朝鮮半島駐屯日本軍(1875~1945)関係基礎史料の収集および翻訳叢書発刊	韓国学中央研究院助成	2016年6月	2018年12月	共同研究員
3	松本 克美	「修復的司法観による少子高齢化社会に寄り添う法・社会システムの構築」	R-GIRO, 抛V 地球規模での人間・社会の成長と存続	2016年7月	2021年3月	グループリーダー

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当なし								